

# 派遣留学生帰国報告書

\* 復学後の情報を入力してください

記入日			
所属学部	工学研究科		
所属学科・専攻	デザイン科学		

## 1. 留学先について

留学先大学名	ケルン応用科学大学												
留学先所属学部等	国際デザイン、統合デザイン学部												
留学期間	出発日 2016/9/3	入学日 2016/9/5	修了日 2017/2/5	帰国日 2017/7/20									
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/>	民間アパート	<input type="radio"/>				その他( )					
	通学時間	40分			On campus								
	通学方法	トラム											
	居室スペース	<input type="radio"/>	個室	( 1 )	人部屋	<input type="radio"/>			その他( )				
	共有スペース	<input type="radio"/>	完全個室	<input type="radio"/>	キッチン	<input type="radio"/>	トイレ	<input type="radio"/>	バス	<input type="radio"/>	リビング	<input type="radio"/>	その他
食事	自炊 40 %	学食 40 %	外食 20 %	その他 ( )									
保険	海外旅行保険(名称)	損保ジャパン											
	派遣先大学指定の保険(名称)	未加入					<input type="checkbox"/> 強制加入						
	その他												
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車)												
	羽田 ⇄ フランクフルト(飛行機) ⇄ ケルン(電車)												

留学先大学名	ミラノ工科大学					
留学先所属学部等	デザインエンジニアリング					
留学期間	出発日 2017/3/1	入学日 2016/3/3	修了日 2017/7/5	帰国日 2017/7/20		
住居	大学(紹介)の寮・アパート	<input type="radio"/> 民間アパート	その他( )			
	通学時間	30分		On campus		
	通学方法	電車				
	居室スペース	<input type="radio"/> 個室	( 2 ) 人部屋	その他( )		
	共有スペース	<input type="radio"/> 完全個室	<input type="radio"/> キッチン	<input type="radio"/> トイレ	<input type="radio"/> バス	<input type="radio"/> リビング
食事	自炊 70 %	学食 0 %	外食 30 %	その他( )		
保険	海外旅行保険(名称)	損保ジャパン				
	派遣先大学指定の保険(名称)	未加入		<input type="checkbox"/> 強制加入		
	その他					
渡航ルート	ex.) 成田⇄シカゴ(飛行機)⇄ウィスコンシン(電車) ケルン ⇄ ミラノ、マルペンサ(飛行機) ⇄					

## 2. 留学にかかった費用について

総費用	2,000,000		円				
出処							
自費	貯金	円	アルバイト	円	その他	円	
援助	両親	100,000	円	家族・親戚	円	その他	円
奨学金	<input type="radio"/> JASSO	円	その他名称( トビタテ )	1,900,000	円		
その他	千葉大学助成金	円	その他( )		円		

## 2-1. 財政管理の方法

渡航時	現金	50,000	円	その他( )	円
留学中	海外送金	キャッシング	その他( マネパカード )		

## 2-2. 各費用の支払い方法

大学に払った費用	
住居にかかった費用	700,000
その他	

## 2-3. 内訳

費目	外貨金額		円貨金額	
	通貨単位			
渡航費(往復)	円		170,000	円
海外旅行保険			100,000	円
OSSMA			20,000	円
査証・在留許可証			40,000	円
住居			900,000	円
食費			600,000	円
通学に要する交通費			20,000	円
教科書、教材費			20,000	円
その他大学に支払った経費				円
光熱費				円
その他 ( 旅行費 )			130,000	円
その他 ( )				円
その他 ( )				円
合計 ( )			2,000,000	円

## 3. 学業面

履修科目名	種類 <sup>ex. 正規、聴講</sup>	単位数	単位互換認定申請の有無		
			○	有	無
1 International Mentoring, Lectures	正規	4 ECTS	○	有	無
2 Cologne Resources	正規	1 ECTS	○	有	無
3 Lost in Translation	正規	3 ECTS	○	有	無
4 Bike Revolution	正規	6 ECTS	○	有	無
5 Let's get physical	正規	2 ECTS	○	有	無
6 Connecting Things	正規	2 ECTS	○	有	無
7 Gute stube	正規	2 ECTS	○	有	無
8 Design development studio	正規	12	○	有	無
9				有	無
10				有	無

### 3-1. 授業科目の選択、登録方法

ケルン応用科学大学(以下KI SD)では、登録は事前アンケートを元に事前に学生サポートの方が組んでくれます。ただそれも柔軟に変更可能で、掲示板に張り出された募集に自分の名前を書くことで授業を取る事もできます。また個人的な作品も単位をいただくことができ、非常に柔軟で自由度の高い大学です。ミラノ工科大学(以下POLI M)も同様に、事前アンケートに答え、受講希望クラスを決めます。あとは先着順でその授業が取れるかが決まります。こちらはKI SDとちがって、柔軟ではないので、事前に受講希望をしていたクラス以外をとるのは正規では難しいです。

### 3-2. 授業内容、方法に関して

KI SDでは、授業ごとにテーマも何を同デザインするかもまったく異なっています。ある授業では、お菓子をデザインするものあれば、社会的な問題をデザインを使って解決していこうといった授業もあります。広く浅く授業内容なイメージです。POLI Mは、全く逆でした。私は、デザインエンジニアと言う学科に所属していたのですが、そこでは専門的な知識を実践式で学ぶ授業が中心でした。具体的にはコーヒーマーカをデザインする中でエンジニアパート、デザインパートそれぞれを与えられた時間で突き詰めました。リサーチ、コンセプト、スタイリング、機構設計、アッセンブリの方法の決定、材料の選定、図面の作成などかなりレベルの高いプロダクトデザインを学ぶ事ができます。

### 3-3. 語学力について

両大学とも、基本的に授業は英語で開講されています。英語力は、ディスカッションをしたり、アイデアを伝えるようなレベルは必須です。ただ絵を用いたり、デザインで使う見せ方の工夫をすればそこまで高くなくても授業にはついていくことはできます。

### 3-4. 図書館など学内施設について

KI SDは、学内施設が非常に柔軟で使いやすいです。使用に煩わしい手続きがない上に、それぞれの工房には専門の技術アドバイザーがいて、アドバイスをいただけます。POLI Mは施設の利用に手続きやテストの受講などが必須になっています。また人数制限もあり、正直使いにくいです。

### 3-5. その他

## 4. 生活面

### 4-1. 住居について

ケルンは、住居を見つける際はwebサイトでの応募をみて探します。ただ倍率が非常に高く良い物件を見つけることは、難しいです。また詐欺も横行しているために、きちんと内観を申し込んで、慎重に探ることが必須です。ミラノは、ケルン程難しくはないです。私は、ミラノ掲示板というサイトで家を探している書き込みをしたところ、偶然にも日本人のライターの方が声をかけてくださり、良い物件を見つける事ができました。

### 4-2. 食生活について

ケルンでは、キッチンがあまり良くなかったり、大学に遅くまで残る事が多かった為に、外でケバブなどを食べる事が多かったです。自炊は外でパンを買ってきて、ソーセージをやいて食べるなどシンプルなものでした。ミラノでは、日本人の友人とシェア生活をしていたため自炊を良くしていました。イタリアは食材が非常に高品質でどの野菜も美味しいし、お肉も柔らかく自炊が捗りました。

### 4-3. インターネット環境、携帯電話について

ケルンでのインターネット環境は最悪です。プリペイド以外の契約を結ばないことを強くおすすめします。僕自身家にネットがなかったためにインターネットを引いたのですが設営に結局2ヶ月もかかった上に、解約後も料金を請求されており、解約後は個人のwebアカウントも消えてしまうため領収書やカスタマーサービスも利用できず、非常に悩まされました。イタリアではその教訓を活かし、携帯はプリペイドを利用していましたが料金プランもシンプル出し、2000円程度と料金も安い為非常にオススメです。Wifiは家にあったためそこも苦労はなかったです。家探しするときwifiがあるかは気を使ったほうが良い問題です。

### 4-4. 服装について

服装は日本にいたるとき来ていたものと、コートを手数買い足した程度です。ヨーロッパの冬は寒いので温かいコートは必須です。

### 4-5. 健康管理について

ジムに通ったり、ランニングをするなどスポーツをすることを意識していたためか、体調は日本にいたときの数倍良かった気がします。

### 4-6. 保険、OSSMAの利用

利用していません。

## 4-7. 課外活動について

ケルンでは、ドイツの学生とよく遊びました。ドイツのサブカルチャーを理解する良いきっかけになりました。ミラノでは、友人と個人的な作品づくりに熱中しました。これが留学の経験と掛け合わせって非常に良い経験になりました。

## 4-8. 学外のコミュニティとの交流について

ケルンではアートギャラリーの方にお世話になったり、スポーツ大学の友人とイベントに参加したりしました。また日本語を学習している学生がケルンにはいがいが多くそうした学生との交流も数回ありました。

## 4-9. 日本から持参してよかったもの

箸

## 4-10. 日本から持参したが不要だったもの

変圧機

## 4-11. 現地での対人関係について気づいたこと(習慣の違い、マナーなど)

ドイツでは、お酒を外で飲むことができ、それが文化になっている。イタリアでは夜飲むと捕まる。両方の国共に、挨拶や会話をきちんとする。エレベーターで一緒になったり、数回カフェで顔なじみになるとすぐ会話が始まる。

## 4-12. 余暇の過ごし方

旅行

【イギリス・ロンドン】2017年1月(5日間) 4万円、  
 【イタリア・ナポリ】2017年5月(2日間) 2万円、  
 【イタリア・ヴェネツィア】2017年6月(2日間) 1万5千円、  
 【スイス・バーゼル】2017年6月(4日間) 3万円、  
 【デンマーク・コペンハーゲン】2017年7月(2日間)  
 【スウェーデン・ストックホルム】2017年7月(3日間)

その他 \*気分転換やストレス発散法など。

ジムに通ったり、ランニングをすることでストレス発散をしていました。たまにクラブにいったり踊るのも良いストレス発散になりました。

## 5. その他

### 5-1. 留学先大学について

KI SD: 非常に自由な気風の大学です。広く浅くデザインについて学ぶことができ、様々な角度からデザインとはどういうことなんだろうということを考えさせてくれる大学です。僕自身、どういデザインをしていきたいか迷っていたときにKI SDに留学できたことは、良いきっかけになりました。また交換留学生やレギュラーの学生とすぐ仲良くなることできるくらい、学校が小さいので学生生活は存分に楽しむことができますと思います。POLIM: やりたい事が決まっていってそれを深く学びたいなら断然POLIMがオススメです。授業のレベルが高くコンペティティブな雰囲気。その分、他の学生と仲良くなるのはKI SDに比べると難しいです。

### 5-2. 留学希望者へのアドバイス

何をやりたいかも大切ですが、その場でどう楽しみ尽くせるかを考えた方がいいです。肩の力を抜いて留学を楽しみ尽くしてください。

### 5-3. 留学を終えて

行って良かったです。環境が変わることはやはり自分に大きな変化をもたらしてくれます。ただ、気をつけなくてはならないのは、受動的な環境変化の学びはあまり身にはならないということです。留学はきっかけでそのきっかけを利用して、自発的に何かをやることでようやく留学を楽しみ尽くせ、本当に学びになるんだなと思いました。

お疲れ様でした